

忘れられない悲しみが
今、涙と感動に変わる…。

太田隆文 監督作品

ひまわり 赤い落日

1983年・夏

常盤貴子 田中美里 藤田朋子

芳根京子 藤井武美 百川晴香 並樹史朗・鳥丸せつこ・別所哲也・津川雅彦

仲代奈緒 斉藤とも子 岡本ぶく 北原雅樹 小池亮介 高嶺正隆 まねだ聖子(声の出演) 岡村洋一

プロデューサー・原作脚本・編集:太田隆文 アソシエイトプロデューサー:小林良二 アシスタントプロデューサー:登山里紗
プロダクションマネージャー:廣野好司 撮影:三本木久城 下畑外純 照明:左納康弘 録音:平島保 美術:竹内悦子 音楽:遠藤浩二 助監督:富澤昭文
制作担当:横手三佐子 タイトル題字:大石千世 配給協力:渋谷プロダクション 制作:育空映画舎 2015年/日本

製作総指揮:井上浩一 製作・配給:IPSエンタテインメント



1983年の夏

あなたは誰と、何処にいましたか？



涙と感動の日本版「ニュー・シネマ・パラダイス」

1983年。まだ携帯もパソコンもなく、CDではなくレコード。DVDではなくビデオテープ。松田聖子や中森明菜が大人気。マイケル・ジャクソンの「スリラー」が流行。バブル景気の前夜ともいえる懐かしい時代。田舎町で青春時代を過ごした女子高生3人組。映画館で古いミュージカル映画を観るのが大好き。でも、卒業前に起きた悲しい出来事。そして30年後の再会……日本版「ニュー・シネマ・パラダイス」ともいえる感動の青春ノスタルジー映画。「ストベリー・フィールズ」「青い青い空」「朝日のある家」で観客を号泣させた太田隆文監督が今回も涙の物語を届ける。

出演は、ドラマ「愛していると言ってくれ」「天地人」、映画「野のなななのか」などで存在感を示し、今春からNHK連続テレビ小説「まれ」に出演中の常盤貴子。同じく連続テレビ小説「あぐり」でデビュー、テレビ&映画で活躍中の田中美里。さらに「渡る世間は鬼ばかり」で圧倒的な認知度を誇り、最近では夫婦バラエティ番組に出演するなど活躍の幅を広げている藤田朋子。その3人の高校時代を演じるのは、こちらもNHKテレビ小説「花子とアン」に出演した芳根京子、「桐島、部活やめるってよ」などの藤井武美、アイドルでもある百川晴香。他にも津川雅彦、別所哲也、並樹史朗、烏丸せつ子、仲代奈緒ら実力派俳優たちが脇を固め、絶妙のアンサンブルを見せている。

1983年の出来事

中曽根康弘首相が韓国で金斗煥大統領と会談。カトリック・メイト・発売。東京デイズ・ニールランド開演。大橋巨泉の世界まるごと。大橋巨泉の「世界まるごと」。

大橋巨泉の「世界まるごと」。



Story 東京で売れないシナリオ・ライターをしている多香子(常盤貴子)の元に故郷で暮らす高校時代のクラスメイトみどり(田中美里)から30年ぶりに連絡が届く。「病気であと数ヶ月の命」との内容に驚いた多香子は、もう1人のクラスメイト、アメリカ人と結婚したエリカ(藤田朋子)に相談する。が、相手にされず。悩んだ末に30年振りの帰郷を決意する。高校時代の悲しい出来事を今も引きずっており、一度も帰郷していなかった。故郷に向かう多香子の胸を通り過ぎるのは、あの頃の思い出。地元の名産座に3人で行き、古いミュージカル映画を毎週見ている。学校帰りはいつも鯛焼き屋でおしゃべり。片思いの先輩もいて、懐かしさが蘇る。だが、30年振りに帰った故郷で待っていたのは「悲しい現実」と「別離」であった…。涙なしには見られない感動の青春ストーリー。

<http://himawarinooka.net/>



【日時・会場】
平成28年2月27日土
①14:00 ②18:30
【夢づくり会館ホール】

平成28年2月28日日
①11:00 ②14:00 ③17:00
【プラザおおるりホール】

【入場料】 全席自由 [税込のみ]
一般 前売 800円(当日1,000円)
小中学生 前売 500円(当日700円)
未就学児 無料(整理券必要)

【主催】 島田市教育委員会
【問合せ先】
株式会社 島田
TEL.0547-36-7222